

自然体験プログラム 2026年概要書

■タイトル：足こぎカヤック「HOBIE（ホビー）」

「HOBIE（ホビー）」は4人乗りの足こぎカヤックで、安全に海を感じながら、人と自然のつながりを学ぶ体験型プログラムです。協力してHOBIEを操作することで、チームワークやコミュニケーション力の向上にもつながります。

■料 金：1名7,150円(税込)

■期 間：5月～10月末

■開催場所：南三陸・海のビジターセンター
(宮城県本吉郡南三陸町戸倉坂本21-1)

■所要時間：120分(2時間)

■定 員：20～40名
※引率の方も乗船する場合、1名とみなします。

■服 装：濡れても良い服装

■持 ち 物：帽子、タオル、サンダル（滑りづらいもの推奨、または濡れてもよい靴）、飲み物、着替え

■注意事項（安全管理）

- ・体験中はガイドの指示に従って行動してください。
- ・海に落ちることはほぼありませんが、波しぶきがかかったり、足元が濡れる場合があります。
- ・すべての参加者に救命胴衣が配られますので、正しく着用してください。
- ・乗船の際に持って行けるのは、飲み物のみです。手荷物はバスなどへ置いておくようお願いします。
- ・海上には救急対応資格を持つガイドが同行します。
- ・天候等の状況に応じて、内容を変更または中止する場合があります。
- ・地震等の自然災害が発生した場合は、指定避難場所の志津川自然の家へガイドが誘導します。

■体験内容

参加者は2グループに分かれて下記①、②のプログラムを入れ替えで行います。（20名以下はグループ分け不要）

① HOBIE 乗船体験

HOBIE は安定性に優れた足こぎ式カヤックで、ペダルをこげる方ならお子様からご年配の方まで安心してご利用いただけます。1 艇の定員は4名で、力を合わせて海上を進みます。志津川湾ラムサール条約にも登録された志津川湾の海洋環境の豊かさや気候変動の影響、震災からの復興の歩みなどを、ガイドの解説とともに現地で「体感」しながら学ぶことができます。

藻場の重要性などについて自然というリアルなフィールドで学ぶことができ、生徒たちの主体性やチャレンジ精神、他者との協働力が育まれ、SDGs（とくに目標 14「海の豊かさを守ろう」、11「住み続けられるまちづくりを」）にもつながる学びとなります。

〈雨天時の対応〉

HOBIE は雨天時、波浪、風速、雷などの条件により出航できないことがあります。この場合は、海のビジターセンター」内でのプログラム（環境学習など）に切り替えて実施します。※HOBIE 体験の受付は9時から15時までとなります。



② ネイチャー系カードゲーム学習・ビジターセンター見学

・ネイチャー系カードゲーム

当センターオリジナルカードゲーム「おさかなふえるかな？」をご用意しております。

このカードゲームは南三陸の海を舞台にした、藻場と磯焼けについて学ぶカードゲームです。今、海でどんなことが起きているのかをゲームを通じて学ぶことができ、海洋環境の課題について主体的に考える力を養います。



・ビジターセンター見学

国立公園や周辺の自然について学ぶことができるパネルや、手に触れて楽しめる展示があります

■関連するSDGsのゴール

- ・3.すべての人に健康と福祉を
- ・10.人や国の不平等をなくそう
- ・12.つくる責任つかう責任
- ・13.気候変動に具体的な対策を
- ・14.海の豊かさを守ろう